

漁港は魚の保育園

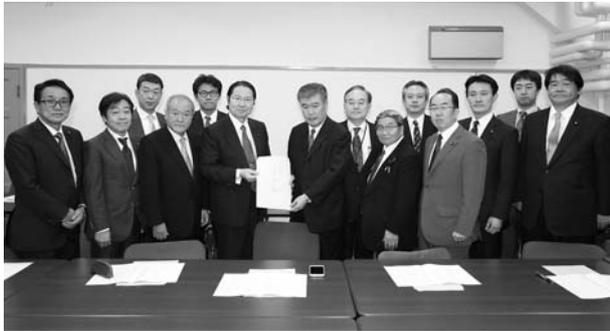
http://www.gyokou.or.jp/

漁港漁場月報

平成28年12月15日 発行
毎月 1回15日発行
編集兼発行人 公益社団法人 全国漁港漁場協会
橋本 牧
東京都港区赤坂1-9-13三會堂ビル8階
電話 東京(5114)9981
定価 1部 70円
(会員の購読料は会費の中に含む)

新長期計画初年度、満額確保を

予算確保で財務省に申し入れ
漁港漁場漁村整備促進協議連



衛藤会長から福田主計局長(左から7人目)に要望(写真=水産経済新聞社)

漁港漁場漁村整備促進協議連(会長・衛藤征士郎衆議院議員)は、漁港・漁場の整備に関する緊急特別決議の申し入れを財務省に行くとし、11月17日(木)福田淳一主計局長、岩元達弘主計局主計官を始め主計局の幹部に対し、漁港漁場及び漁村の整備を著実に推進するために必要な施策を盛り込んだ漁港漁場整備長期計画を新たに策定するとともに、新長期計画の初年度予算としての平成29年度水産関係一般公共予算の満額確保を強く申し入れた。

申し入れに参加した国 議院・鳥取・鳥取のほ
会議は、衛藤征士郎会
長(衆議院・大分2区)、
静岡2区、谷公一(衆
鈴木俊一(副会長・衆議院
・岩手2区、北村誠吾
幹事長・衆議院・長崎2
区)青木一彦事務局長(参

(衆議院・福岡7区)江
島謙一(参議院・山口)三
宅伸吾(参議院・山根)
の合計11名の国会議員と
富岡勉衆議院議員(代理)

全国漁港漁村整備促進協議連(会長・衛藤征士郎衆議院議員)は、漁港・漁場の整備に関する緊急特別決議の申し入れを財務省に行くとし、11月17日(木)福田淳一主計局長、岩元達弘主計局主計官を始め主計局の幹部に対し、漁港漁場及び漁村の整備を著実に推進するために必要な施策を盛り込んだ漁港漁場整備長期計画を新たに策定するとともに、新長期計画の初年度予算としての平成29年度水産関係一般公共予算の満額確保を強く申し入れた。

第20回 海岸シンポジウムを開催
天災から命を守る、海岸法制定60周年を迎えて
視察からの過去を振り返る。これからのような方向性について、現在、そしてこれからどのような方向性に向かうかについて、初めに磯部雅彦会長から「海岸法制定60年のあゆみ」と題して特別講演があった。磯部会長は、本年映画化された「殿、利息でござる」の原作、無私日本人の著者であり、また、「武士の家計簿」や「天災から日本史を讀みなおす」など多数の著作がある。講演では、歴史学者ならではの地味な語り口で、古文書や地籍図等の史実を丁寧に引用しながら、海岸法制定の経緯や、今後の海岸事業をどう進めていくかが大事と話があった。

磯部会長は、本年映画化された「殿、利息でござる」の原作、無私日本人の著者であり、また、「武士の家計簿」や「天災から日本史を讀みなおす」など多数の著作がある。講演では、歴史学者ならではの地味な語り口で、古文書や地籍図等の史実を丁寧に引用しながら、海岸法制定の経緯や、今後の海岸事業をどう進めていくかが大事と話があった。

最初、野田武則理事長から「釜釜の復興の歩み」と題し、釜釜の被災状況、震災の教訓、復興の課題等について説明があり、防潮堤の必要性についても報告が行われた。

230名が参加した第20回海岸シンポジウム

最後、磯部会長から閉会にあたり、「災害から国民の生命と財産を守るために、今後どのようにして努力を続けるかが重要であり、皆様からの御協力をお願いしたい」との挨拶があった。なお、本シンポジウムの詳細については、後日報告書がまとめられ、関係機関に配布される予定である。

出席・長崎1区。緊急特別決議の主な内容としては、
○夢の持てる水産業・漁村を築くための次期長期計画の策定と平成29年度予算の確保
○水産物の輸出促進等水産物の国際競争力強化と地域の活性化に資する漁港・漁村づくりの推進
○海域の生産力向上と豊かな沿岸環境の創出に資する水産環境整備の推進
○多発する自然災害に備え、漁村・漁村の強靱化対策の推進であり、これらの施策を実現

漁港技術海外交流調査(台湾)を実施
(一社)漁港漁場新技術研究会
一般社団法人漁港漁場新技術研究会(会長・橋本牧)は、海外における水産基礎整備事業の取り組み状況やそれに関する技術的ニーズ等を把握するとともに、インフラ輸出や技術協力に関する課題等を収集するため、平成28年11月22日〜25日の間、訪問先は台湾北部の台北、現地視察に先立ち、日本の水産庁にある行政視察団として、漁港技術公法連合会(全国漁港漁場協会)で行った。

参加メンバーは研究会会員の計14名、訪問先は台湾北部の台北、現地視察に先立ち、日本の水産庁にある行政視察団として、漁港技術公法連合会(全国漁港漁場協会)で行った。



陳添壽署長(右から6人目)

掲げの中心となる地産品の漁港の2箇所であった。現地視察に先立ち、日本の水産庁にある行政視察団として、漁港技術公法連合会(全国漁港漁場協会)で行った。

衛藤征士郎会長からは平成29年度は長期計画のスタートの年であり大変重要であるとして予算満額確保を強く要請し、他の議員からも漁港漁場漁村を巡る問題点とその対策について具体的な要請が行われ、施策の実現に向けて予算の満額の確保を強く要請した。

衛藤征士郎会長からは平成29年度は長期計画のスタートの年であり大変重要であるとして予算満額確保を強く要請し、他の議員からも漁港漁場漁村を巡る問題点とその対策について具体的な要請が行われ、施策の実現に向けて予算の満額の確保を強く要請した。

衛藤征士郎会長からは平成29年度は長期計画のスタートの年であり大変重要であるとして予算満額確保を強く要請し、他の議員からも漁港漁場漁村を巡る問題点とその対策について具体的な要請が行われ、施策の実現に向けて予算の満額の確保を強く要請した。

衛藤征士郎会長からは平成29年度は長期計画のスタートの年であり大変重要であるとして予算満額確保を強く要請し、他の議員からも漁港漁場漁村を巡る問題点とその対策について具体的な要請が行われ、施策の実現に向けて予算の満額の確保を強く要請した。

